

# 東京土建サポーターズクラブ通信

12月25日(日)  
親子で参加しよう!

ミニ門松づくりと木工教室開催!

## クリスマスに親子で木工体験!



8月実施の親子木工教室の様子

今年度より、サポーターズクラブ会員の皆様に参加できる企画を実施していきます。第2弾として、クリスマス特別企画「親子木工教室」を下記の通り開催いたします。

会員の皆様で小学生のお子様がいらっしゃる方、又は小学校に通っている会員の皆様が親子で参加する企画となっています。

内容は、ミニ門松の作成と小さなイス又は、小物入れのどちらかをつくります。もちろん、大工さんが講師としてお教えしますが、出来る限り親子で頑張ってみてください。

なお、事前予約制となっておりますので、必ず電話予約の上、4P目の申込書をFAXして下さい。

また、当日は木工教室の他に職業体験として「カンナ削りの体験」も企画していますので、是非ご参加ください。

## 御報告

今年も、秋の住宅デーを10月より11月末まで各地域で開催致しました。ご来場いただいたクラブ会員の皆様に厚く御礼申し上げます。また、世田谷区の友好都市である宮城県南三陸町に対する震災支援で募金箱を住宅デー会場に設置しました。ご協力いただきました募金29,033円は、南三陸町長に手渡します。今後も、被災地の復興支援に東京土建世田谷支部として様々なかたちで協力していきます。

### 記

日時：12月25日(日)  
午前：10時～12時30分  
会場：世田谷支部会館2階  
工作物：ミニ門松と  
小さなイス又は、小物入れ  
参加費：無料  
定員：各回30組(先着順)

### 【今後の取り組み】

サポーターズクラブでは、大人の日曜大工などの企画も検討中ですので、ご意見ご要望がございましたらホームページにてお寄せ下さい。



写真はイメージ図

# 東日本大震災から5年 私たちは震災の記憶を忘れない

## 宮城県南三陸町での復興支援活動

クラブ通信9号に続き、防災庁舎に関する震災を語るやりとりを綴った「天使の声」その一文をご紹介します。

津波はみるみるうちに黒くその姿を変え、グウォーンと不気味な音を立てながら、すさまじい勢いで防潮水門を軽々超えてきた。容赦なく町をのみ込んでいく。信じられない光景であった。未希さんをはじめ、職員は一斉に席を立ち、屋上に続く外階段を駆け上がった。その時、「きたぞおー、絶対に手を離すな」という野太い声が聞こえてきた。津波は、庁舎の屋上をも一気に襲いかかってきた。それは一瞬の出来事であった。「おーい、大丈夫かあー」「あー、あー」。力のない声が聞こえた。30人ほどいた職員の



### 被災直後の南三陸町防災対策庁舎

数は、わずか10人であった。しかしそこに未希さんの姿は消えていた。

それを伝え知った母親の美恵子さんは、いつ娘が帰ってきてもいいようにと未希さんの部屋を片づけ、待ち続けた。

未希さんの遺体が見つかったのは、それから43日目の4月23日のことであった。

町民約1万7700人のうち、半数近くが避難して命拾いをした。

5月4日、しめやかに葬儀が行われた。会場に駆けつけた町民は口々に「あの時の女性の声で無我夢中で高台に逃げた。あの放送がなければ今ごろは自分は生きていなかったら」と、涙を流しながら写真に手を合わせた。

変わり果てた娘を前に両親は、無念さを押し殺しながら「生きていてほしかった。本当にご苦労様。ありがとう」とつぶやいた。出棺の時、雨も降っていないのに、西の空にひとすじの虹が出た。未希さんの声は「天使の声」として町民の心に深く刻まれている。



### 南三陸町防災対策庁舎2016年11月26日撮影

東京土建世田谷支部は、クラブ通信9号でもご紹介した通り「震災を忘れない」をテーマに継続した復興支援の取り組みを行っています。今年の11月27日（日）に南三陸町観光協会が主催する「福興市～鮭・いくらまつり」に参加しました。内容は、2月に参加した時に好評だった「射的」を出店し、182名が挑戦しました。

### 11月27日に開催された福興市に参加しました



地元の子供達をはじめ、大人も夢中になっていました。今回の売上も前回同様、南三陸町観光協会に寄付いたしました。福興市への参加は、津波で多くを流されてしまい、地元あまり娯楽施設がないとの意見から「子供も大人も楽しめる出し物を」ということから出店した経緯がありました。被災された方が笑顔になるお手伝いできた事は継続して支援に取り組む上で、大いに励みとなりました。

また、同時並行で現地視察と社会福祉協議会との懇談も行いました。クラブ通信9号でご紹介したあづま一れ補強について、社会福祉協議会の三浦総務課長は、「仮設住宅で暮らす方のコミュニティスペースとして安心して利用しています」と感謝の言葉をいただきました。また、引き続き復興に向けて連携を強めて取り組む事を確認しました。

今回出店した会場は港で、倉庫横に大量のガレキが積み上げられていました。そのガレキは、津波でさらわれた物で5年が経過した今でも打上げられるそうです。



今でも打ち上げられるガレキ



### 大盛況だった射的出店の様子

引き続き、東京土建世田谷支部として震災があったことを風化させない事、被災地に笑顔があふれる様な取り組みを継続していきます。

## 東京土建世田谷支部と世田谷区建設団体防災協議会のとりくみ

東京土建世田谷支部では、東京土建が加盟する世田谷区建設団体防災協議会（建防協）は、区内の建設関係11団体でつくる防災組織です。建設のプロ集団が日頃からいつ起こるかわからない大災害に備えて訓練をおこなっています。



※地図で災害拠点や避難経路等を確認しました。

11月16日には災害発生を想定して地図を利用した訓練（図上訓練）を70名の参加で開催しました。世田谷区を5支所に別けて班を作り、地図で災害拠点となるまちづくりセンターや医療救護所の場所を確認しながら、地域の木造密集地など家屋の倒壊や火災が起きそうな危険な箇所を話し合いました。



私たちは、日頃よりパワーショベルや小型クレーンなどの重機やジャッキやバールなどの道具を仕事で使っています。建防協は世田谷区や区内3消防署と防災協定を結んでいます。いざ災害が起きた時には自分の道具と日頃の経験を活かし、人命救助や道路のがれきを除いて緊急車両が通れるようにすることを任務としています。

また私たちは町会の防災訓練やまちづくりセンターが主催する防災塾にも参加をしています。大災害が発生した際には、地域の皆様と一緒に苦境に立ち向かっていきます。ご理解とご協力をお願い致します。

## イベント情報

### 餅つき大会

地域の方々にも参加していただけるイベントとして定着した餅つき大会。お餅をはじめ、おしるこや焼き鳥、豚汁、各種飲み物をお配り致します。是非お越しください。

【日時】1月22日（日）10時～14時30分

【会場】東京土建世田谷支部会館

【参加費】無料（申込不要）どなたでも参加可

【主催】東京土建世田谷支部

# 親子木工教室申込書

## 【申込方法】

- ①お電話で予約する
- ②申込用紙をFAXで送る
- ③申込完了

※①～③の順番でお申込ください。

**電話：03-3413-3020**

**FAX：03-3413-3021**

**日時：2016年12月25日(日)**

**午前：10時～12時30分**

**会場：東京土建世田谷支部会館2階**

(世田谷区上馬5-34-16)

**工作物：ミニ門松と小さなイスか小物入れ 参加費：無料**

**参加対象：小学生とその保護者**

(お子様だけの参加は出来ません)

**定員：30組(先着順) 参加〆切：12月21日(水)**

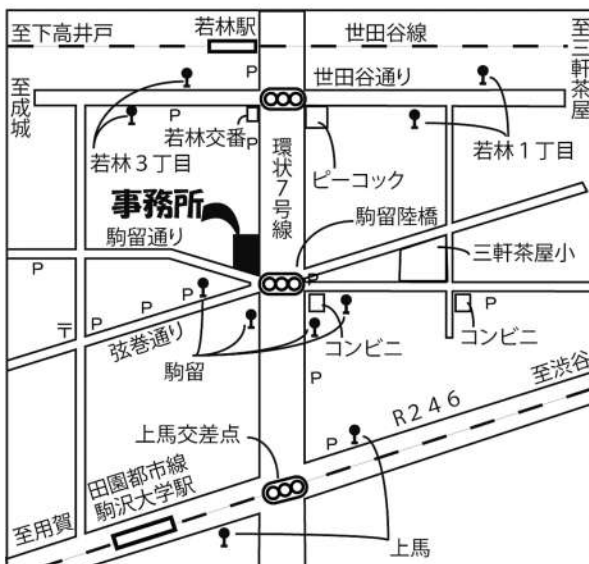
●道具などをご用意しております。

●作品はお持ち帰りいただきます。

●当日は汚れても良い服装でお越しください。

●会場に駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

希 望 工 作 物	小さなイス	小物入れ	いずれかに○をして下さい
ふりがな	小学校名		
氏 名	学 年		
住 所 〒			
電話番号	携帯番号		



発行元

〒154-0011

東京都世田谷区上馬5-34-16

東京土建一般労働組合世田谷支部内  
東京土建サポーターズクラブ事務局

TEL:03-3413-3020

FAX:03-3413-3021

東京土建世田谷支部のHP:

[www.doken-setagaya.or.jp](http://www.doken-setagaya.or.jp)

✉ : [info@doken-setagaya.or.jp](mailto:info@doken-setagaya.or.jp)